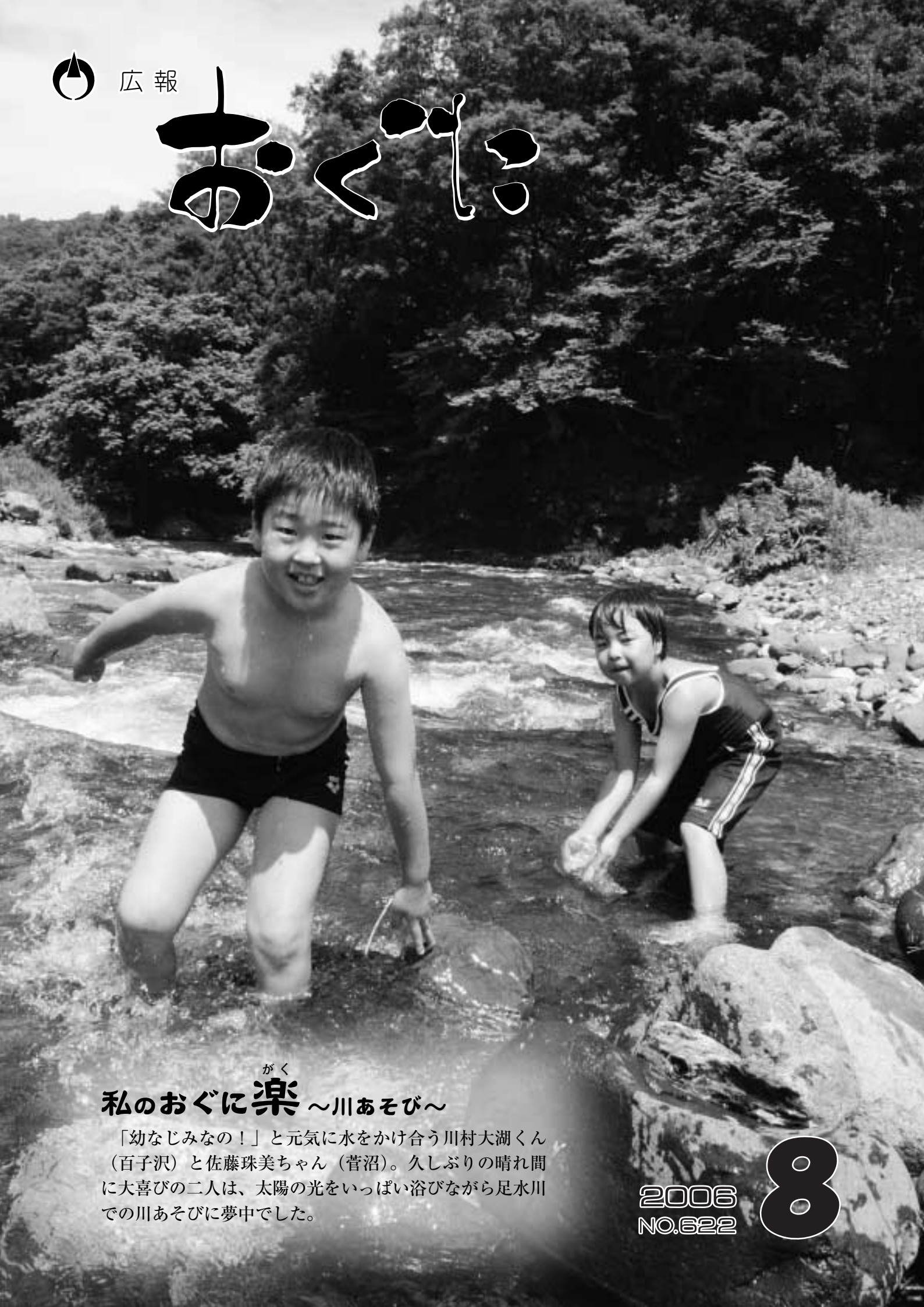




広報

おぐに



がく
私のおぐに楽 ～川あそび～

「幼なじみの！」と元気に水をかけ合う川村大湖くん（百子沢）と佐藤珠美ちゃん（菅沼）。久しぶりの晴れ間に大喜びの二人は、太陽の光をいっぱい浴びながら足水川での川あそびに夢中でした。

2006
NO.622

8



7/9

豆落語家誕生
山遊亭金太郎落語教室

落語家の山遊亭金太郎師匠と三遊亭神楽さんを講師に招いた落語教室が、7月9日、ショッピングセンターアスモで開催されました。

落語をとおして豊かな心を育もうと、商店防犯協議会（舟山慶三会長）が行ったもので、保育園児から小学6年生まで6人の豆落語家が誕生しました。稽古後の発表会では、早口言葉や発声練習に続き、一人ひとりが小話などを披露。客席からは笑いと拍手、そして緊張した表情で見守る家族の声援が飛びました。

白い森発

ぐると
情報局

7/15~16

小玉川に響け！

ガムランワークショップ

インドネシアガムラン音楽のワークショップが、7月15日から16日の2日間、小玉川小学校を会場に行われました。

これは、南部地区の有志などでつくるサザンクロス（横山隆藏代表）が主催したもので、2003年の国民文化祭から交流のある東京のガムラングループから、宮元真佐人さんを講師に招き、ガムラン独特の音色を楽しみながら練習に励みました。

今年3回行われるワークショップの成果は、11月に同校で行われる「かっきり祭り」で発表される予定です。



私にとつてのふるさととは、子どもの頃から春は山菜採り夏は川で魚釣り、秋はあけびを採ったり栗拾いに行ったり冬はスキーをしたり、一年中野山で遊びまわっていたことを思い出します。

現在山形市に住んでおりますが、仕事の関係で度々小国を訪れる機会があります。私には仕事だけでなく、ふるさとを訪れるもう一つの楽しみがあります。それは春の山菜採りです。毎年四〜五回出か



高橋 道男さん
（山形市在住 小国町出身）

シリーズ
私のふるさとへ



7/20

声援がとびかう

第22回 小国町長杯ゲートボール大会

今年で22回目を迎えた、小国町長杯ゲートボール大会が、7月20日、ふれあいの家で開催されました。

大会は、小国町ゲートボール協会(今謙悦会長)が主催したもので、この日は13チーム、会員約80名が日頃の練習の成果を出し合い、熱い戦いを繰り広げました。

予選と決勝トーナメントで行なわれた試合の結果は、北・田沢頭地区の寿楽会が優勝、東原地区老人クラブが準優勝、町岩地区の長生会、白沼地区の高砂会がそれぞれ3位に入賞しました。



7/23

野菜を育てて

ふれ合い深める

トライあぐるの野菜作り



子育てサークルのトライあぐる(今野美喜子代表)では、町内の子どもとその保護者で、野菜作りに取り組んでいます。7月23日には、日々行っている個人の管理に加えて、6組の親子が集まり、田沢頭地内の畑で収穫や手入れの作業を行いました。

この取り組みは野菜作りをとおして親子のふれ合いを深め、栽培過程や収穫の喜びを共に体験してもらおうと行われているものです。収穫時期を親子で相談しながら作業が進められ、大きく実ったナスに驚いたり、真っ赤に熟したトマトをその場でほおばる姿もありました。

けて自分の家で食べる分だけ採ってきます。タラノ芽、コゴミ、ウド、ミズ、ワラビなど、今では、採るだけでなく山菜を自分で料理し、ふるさとの懐かしい味を家庭で楽しんでいます。(山菜クッキングの本を買いました。)子どもたちにも評判がよく、我家の味として大切にしていきたいと思っています。

最近では自然食ブームで、特に山菜は安心して食べられる食材として見直されています。これからも様々な山菜料理にチャレンジし、腕を磨いていきたいと思っています。

もう一つの楽しみは、多くの仲間と会えることです。特に中学時代の同級会は、いつも盛り上がり、思い出話に花が咲きます。今年も十月に同級会が予定されています。四十二年三月卒業、三年四組全員の出席を待っています。

わたしのふるさととは、豊かな自然と懐かしい思い出、心から付き合える多くの友人がおり、いつも元気をもたらしてくれます。

文部科学副大臣が小国高校を訪問



Ⅱ 馳浩（はせひろし） 文部科学副大臣 Ⅱ

星稜高校教諭時代にレスリング選手としてロサンゼルスオリンピックに出場、その後プロレスラーとして活躍。平成七年に参議院議員、平成十二年に衆議院議員、平成十七年に文部科学副大臣に就任。

七月十二日、馳浩（はせひろし）文部科学副大臣が、県立小国高等学校（竹田眞知子校長）を訪れ「尊厳死を考える」と題して講演を行いました。当日は小国高等学校全校生徒や、山形県教育委員会教育長をはじめとする来賓のかたがたのほか、町内の学校教諭、町民など多くのかたが聴講しました。

尊厳死Ⅱ医療機器や薬物の力で無理に生命を保たせることをせず、自然な状態で死なせること。また、そのような死にかた。（広辞林より）



講演のお礼を述べた生徒会長と堅い握手

馳氏は、本町で実践研究を進めている小中高一貫教育の視察を兼ねて来校されました。講演では、国内の臓器移植の現状や、今年三月に明るみに出た、富山県内の病院での人工呼吸器取り外し事件をきっかけに、尊厳死に対する議論が高まってきていることを挙げました。

また「もし、自分の家族が終末期医療に支えられて生きているとしたら、あなたはどうしますか」「あなたはどんな人生の最後をむかえたいですか」などの質問で会場とのやりとりも行われました。

馳氏は、尊厳死について「賛否についてはさまざまな議論があるが、本人が強く望むのであればその概念を認めることも、選択肢の一つとしてありうるのではないか」と述べた後「理想の死に方をするためには、いかに生きるべきかということが大切であり、その価値観、生きる力、知識、教養を学ぶのがまさに高校時代である」と強く語りかけました。

町長室から

小国町長 小野精一

山村は、総じて高齢化率が高く、過疎化が進行し、地域社会機能の低下が懸念されています。

過日、九州地方の山村を視察研修する機会をいただきました。特に興味を持ったのは宮崎県五ヶ瀬町にある県立五ヶ瀬中等教育学校です。中学校課程を前期生、高等学校課程を後期生と分け、一学年は四十人の男女共学全寮制です。また、卒業生のほとんどは大学に進学しています。

学校では、自然の中で感性を磨き、生徒一人ひとりの個性を開発する教育を通して、「眼（まなこ）を世界に開き未来を切り拓く、創造性豊かで主体的に生きる人間の育成をめざす」という高い目標を掲げています。

本町は、小中高一貫教育の研究開発に取り組んで六年を迎えますが、学すべき点が多くありました。

対話が生む 地域の絆

防犯に対する意識が高まる中で、明るく、安全で安心なまちづくりをしていこうと、町内各地で防犯活動やあいさつ運動など、自主的な活動が展開されています。



叶水小中学校で行われた見守り隊の結団式

社会を明るくする運動

七月三日には、役場ロビーにおいて、今年で五十六回目を迎えた社会を明るくする運動の、法務大臣メッセーじ伝達式が行われました。

社会を明るくする運動とは犯罪や非行を防止したり、罪を犯してしまった人たちが、

改めて人生をやり直すことができるように、それぞれの立場の人がみんなで力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築いていこうという全国的な運動です。

この日、社会を明るくする運動実施委員など、約四十人の関係者は犯罪や非行のない明るい社会を築こうと呼びかけました。

育てよう小国っ子

安全・安心まちづくり

七月十八日、おぐに開発総合センターにおいて「育てよう小国っ子 安全・安心まちづくり対話会」が開催されました。

この対話会は、小国地区少年補導員連絡会（多勢信人会長）が主催したもので、町内の学校関係者、PTA、各団体の見守り隊など約七十人が参加し、二時間半にわたって意見を交わしました。



地域の絆によって子どもたちの安全を守っていこうと熱心な意見交換が行われた

学校や地域の見守り隊、ヤクルトレディーなど既に防犯活動に取り組んでいる団体からは、日頃の防犯活動の紹介や課題、疑問に感じている点などについても意見が出されました。

特に子どもたちの下校時間の安全を守るために、保護者はもちろんのこと、地域学校安全指導員や老人クラブのかたがたなど、団体同士の横のつながりを深め、協力していくことを確認しました。

（社）長井法人会

デジタイマ寄贈

長井法人会（横澤浩次会長）から「デジタイマ」二台が町に寄贈されました。これは長井法人会が地域社会貢献活動の一環として行ったもので、寄贈により始めて町にデジタイマが導入されました。このデジタイマは町民総合体育館に配備して、バレーボールや卓球などの得点掲示としてはもちろん、ストップウォッチや敏しょう性トレーニングなどにも活用されます。



多様な使用が可能なデジタイマ

小国町交流まちづくり研究会

七月二十三日、おぐに開発総合センターにおいて、小国町交流まちづくり研究会が開催されました。

小国町交流まちづくり研究会（本間信義会長）は、人と自然、人と人とのつながりによる交流・体験メニューの研究に取り組みながら、体験や学習を軸とした新たな誘客を図る「交流によるまちづくり」の研究を行うことを目的に設立されました。

これまでも、独自の活動を行ってきましたが、本年度はツーリズム型交流（体験学習型交流）の実践を目指して、東北電力の地域づくり支援制度「まちづくりパートナー」を活用した研究に取り組んでいます。今回は、お二人のアドバイザーをお迎えして、講演をいただきました。

研究会では、先進地域における「ツーリズム型のまちづくり」など、実践事例の研究を行いながら、主体的、実践的な活動につなげていくこととしています。



まちづくりパートナー
法政大学教授
岡崎 昌之氏

岡山県出身で、2001年より法政大学にて「地域ツーリズム」を担当。地域経営、地域計画、まちづくりを専門分野とし、先進事例を踏まえた多様な観点から、本町のまちづくりに対し助言をいただいている。

岡崎氏からは、外に頼らずに自分たちでなんとかしようとする、自立性・内発性のあるまちづくりの重要性と、まちづくり型のツーリズムの展開手法について提言がありました。

① 地域（町）としての観光地づくり

味、祭り、人など、暮らしに根ざした町独自の素材を活かして「これが小国町だ」というイメージを、どう外に発信していくかが重要である。そのためには、それらを地元に住む人たちがよく知り、誇りに思うものでなくてはならない。

② 美しい町づくり

小国町の美しさをどう形成していくかが課題である。自然は人間の管理がなければ荒廃していくし、街並みなどの景観は、自然や周辺の環境に即したものでなければ、美しさを保つことができない。

③ 外とのネットワークづくり

外の目を通して自分たちの内側を磨いていくことが大切である。いかに住民がまちづくりに参加するかも重要であるが、町内の関係者のみならず、学生など外部からの人材を受け入れながら、個性と個性が触れ合う交流を展開していく必要がある。

伊藤庄九郎さん
国土交通大臣表彰

受賞



伊藤庄九郎さん（玉川）が、建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰を受章しました。

伊藤さんは、昭和四十七年十二月一日から平成十五年十二月三十一日までの三十二年間の永きにわたり、荒川水系玉川下新田雨量観測所観測員として、その職務に精励し、治水事業の推進に寄与されました。観測は、年間をとおして雨や雪などの悪天候の中でも、欠かすことなく毎日午前九時に行われ、その誠意的で正確な測定が高く評価されました。

◎熊本県小国町

人口は九千人弱で、雄大な阿蘇のすそ野に広がる山間部の農村。昭和六十二年から「悠木の里づくり」という地域づくりをスタートし、特産の小国杉をテーマとして、従来の山村の発想を超える取り組みを行っている。

◎九州ツーリズム大学

「学びやの里・木魂館」を拠点に平成九年に開校。ツーリズム学科、観光まちづくり学科、環境教育コースに分かれ半径一〇〇キロの近隣地域をキャンパスに、講義のほか農家民泊などの体験をおとした学習を展開している。



派遣アドバイザー
熊本県小国町 行政経営局長
江藤 訓重氏

熊本県小国町生まれ。早稲田大学卒業後、帰郷して10年間農林業に従事。九州ツーリズム大学事務局長、熊本大学常勤講師、国土庁地域振興アドバイザーなどを務め、さまざまな分野で活躍中。

江藤氏は「農村に住んで

るのは農家だけではなく、むしろ非農家の方が多い。そのため、グリーンツーリズム＝農家民泊だけでなく、町全体がまるごとツーリズムを実践していくことも必要である」とし、商家民泊はもちろん、集会施設や消防団小屋民泊など、地域に密着した交流活動などユニークな取り組みを紹介しました。

また交流活動を展開しているためには、学びの要素を取り入れることが大切で、ツーリズムの取り組みをおして地域の人材・リーダーを育て、ネットワークをつくっていくことの重要さを語られました。



参加した研究会委員や町民からはまちづくりについての質問がだされた

講演の最後には意見交換が行なわれ、会場を訪れた会員や町民からは「交流ビジネスに取り組んできた過程での課題」や本町の雄大な森林資源を生かした「林家民泊」などの提案がだされました。

また、小国町が取り組むべきまちづくりの方向性について、質問に、助言をいただくなど今後の研究会の活動に有意義な講演会となりました。

農業委員に

齋藤恒助氏



山形おきたま農業協同組合の役員改選に伴い、同組合推薦の農業委員が、渡邊正義氏（樽口）から、齋藤恒助氏（緑町）に変わりました。

齋藤氏は現在、山形県農業担い手支援センター相談員としても活躍中。

七月二十五日、役場において選任書の交付式が行われました。任期は、平成二十年七月十九日までとなります。

本町の経済と生活を支える米坂線

～全線開通70年の歩み～



本町経済に大きな影響をもたらした米坂線の全線開通から、今月で70年が経過しようとしています。そこで、その歴史を振り返るとともに今もなお重要な役割を担っている米坂線について紹介します。

米坂線と小国町の発展

昭和十一年八月三十一日、住民の悲願であった国鉄米坂線が全線開通しました。途中に宇津峠を始めとし、赤芝狭など十六カ所のトンネルの開削や、六十一カ所の鉄橋工事、急勾配などで実施測量から完成までに十八年の歳月を要した大事業でした。

それまでは町内の大部分が農家で、自給自足の生活を送り、長い冬期間は雪に閉ざされた生活でした。それが、鉄道の開通により、通年を通して大量の物流を可能とし、人やモノだけでなく情報をも運んだことで、本町の経済は飛躍的な発展を遂げました。

米坂線の開通は、小国町の閉鎖性を緩和し住民の日常生活の領域を広め、米沢市や新潟県をはじめとした近隣市町村との結びつきを強めることとなりました。米坂線は、欠かすことのできない社会基盤として、本町の発展に大きく寄与してきたのです。

米坂線の歴史

- 大正15年9月28日 今泉線（米沢～今泉間）開通
- 昭和3年2月 今坂西線（坂町～小国）
今坂東線（小国～今泉）着工
- 昭和6年8月10日 （坂町～越後下関）開通
（今泉～手の子）開通
- 昭和8年11月10日 （手ノ子～羽前沼沢）開通
- 昭和8年11月30日 （越後下関～越後金丸）開通
- 昭和10年10月30日 （羽前沼沢～小国）開通
（越後金丸～小国）開通により、
米坂線と改称し全線開通
- 昭和15年3月5日 小国～玉川口間雪崩のため列車
荒川に転落（死者15名、重軽傷
者27名）
- 昭和38年1月26日 38豪雪のため10日間不通
- 昭和42年8月29日 羽越水害のため不通（43・6・
2 開通）
- 昭和62年2月19日 米坂線整備促進期成同盟会設立
- 昭和62年4月1日 国鉄分割民営化
- 平成4年7月1日 山形新幹線開業



米坂線 延長：90.769km
駅数：20(6市町村)

産業を生み出していた

米坂線

米坂線が開通するまでは貨物の輸送が困難なため、本町では豊富な木材、薪炭などを生かした産業の振興が図れない状態にありました。

そうした中、平成八年に米沢～沼沢駅までが開通しその後、段階的な整備が進められてきました。そして、平成十一年の全線開通は、物流を生み各種産業の振興をはじめ、本町住民の生活文化に大きな進展を見せることとなりました。

木材生産を中心に林業が栄え、賑わいをみせていた当時の沼沢駅周辺の様子を、丹健治さん（沼沢）にお聞きしました。



丹 健治さん

丹

国道が今のようには整備される以前、沼沢駅周辺は多くの利用で賑わっていました。米坂線の開通により林業が栄え、多くの作業員が米坂線を利用して働きにきていました。木材は明沢や森残から沼沢駅までトラックを利用して運び出し、それが常に駅前に山積みになっていました。もちろんそれらは米坂線を利用して町外に運び出していましたので、一日に何度も木材を運ぶ貨物列車が走りました。

町外から働きに来る作業員が多いため、沼沢駅前には旅館が建てられ、ホームにたくさんの方が列をつくるほど賑わっていました。

米坂線がいろいろな産業を盛んにしてくれました。

町の経済発展の礎

小国町は、米坂線の開通により「工場の町」と移行していきましました。昭和十三年に操業を開始した日本電興株式会社では、工場内に専用の線路を引き、原料や製品のほと



舟山義友さん

などを貨物列車で運搬していました。小国町産業の中核を担ってきた日本電興と、それを支えてきた米坂線。当時の様子について元社員の舟山義友さん（兵庫館）にお話をお聞きしました。

舟山 私は昭和三十四年に日本電興に入社し、貨物の取り扱いの業務にも携わってきました。会社では貨物を小国駅から工場まで運ぶ専用線路を建設し、機関車を買って荷物の運搬を行なっていました。それを運転するのは社員で、私も蒸気機関車とディーゼル機関車の両方を運転した経験があります。



昭和32年日本電興専用線の新設作業 ※写真：東芝セラミックス(株)小国事業所提供

もちろん運転免許を取得する必要がありますが、貨物は当時の国鉄の持ち物ということで、運転にはとても気を配っていました。

原料はある程度工場に保管していましたが、製品は納品日が決まっていますので、米坂線が止まってしまうと大変でした。特に羽越水害の時は、小国と伊佐領間が不通になってしまいましたので、伊佐領

駅側に荷下ろし場を仮設し、そこで原料や製品の積み下ろしをしていました。

米坂線はそれだけ会社にとってなくてはならない重要なもので、まさに生命線でした。

米坂線の利用状況

現在米坂線を利用するのはどのような乗客が多いのか、また米坂線の役割などについて小国駅長の藤田芳男さんにお話をお聞きしました。

駅長

平日のほとんどの利用は学生ですが、夏のシーズンは登山客の利用が目立ちます。以前は一度に四十人から五十人の登山客が列車から降りてくることもありましたが、利用客は減ってきています。

国道が整備されていなかった頃、冬はこの米坂線のみが頼りでしたので、人だけでなく食糧や医療品など生活物資のありとあらゆるものがこの米坂線で運ばれていました。今は姿を見ることもなくなり

ましたが、背負子（シヨイコ）と呼ばれる行商も、この米坂線を利用して新潟県から海産物などを運んで来ましたし、工場の原料を運ぶ貨物も一日に何本も運行されました。

最近では、平成十六年の新潟中越地震の際に、上越新幹線や羽越本線に甚大な被害が発生したため、関東方面から新潟方面に向かう乗客で一時混み合いました。本路線が日本海側と太平洋側を東西に結ぶ重要な路線であることが改めて確認されました。



「背負子」と呼ばれる行商が行きかう



住民の憩いの場にもなっていた小国駅

米坂線整備促進期成同盟会

米坂線の利用促進と沿線の整備を進めるため、昭和六十二年二月十九日に新潟・山形両県の米坂線沿線四市七町四村と関係団体で構成する米坂線整備促進期成同盟会が設立

されました。同盟会ではJRに対し近隣新幹線との接続ダイヤの改善、より利用しやすい運行スケジュールへの改善などについての要望活動を行っています。また今年度は、米坂線全線開通七十周年を記念して、フォトコンテストを実施します。

米坂線に乗って

写真を撮ろう！

■応募方法 小国町ホームページまたは役場ロビーなどに設置している応募用紙に必要事項を記入し、写真に貼付したものを郵送または、直接持参してください。

■募集期間 8月1日(火)～平成19年1月31日(水)

■応募・問合せ先

〒959-1329

新潟県岩船郡関川村下関912 同盟会事務局(関川村役場内)「米坂線に乗って、米坂線を写そう！」フォトコンテスト係

(☎0254-64-1476)

通学の足としての米坂線

現在、小国町から町外の高校に進学している生徒は約百九十人でそのほとんどが米坂線を利用しています。毎朝始発の列車で通学している塚原麻惟さん(舟渡)にお話を聞きました。



塚原麻惟さん

塚原 朝は眠くて大変ですが六時四分発の米坂線に乗り、片道約一時間半かけて通学しています。私は米沢東高校に通っていますが、列車の中ではほかの学校の生徒とも話ができるし、交流の場になっています。そのため、最近はお宿をしないで列車通学をしている学生が増えていくようです。米坂線がないとそうした交流の場が無くなるばかりか私たち学生は学校に通うこと

もできなくなります。できればもっと本数が増えればいいなと思いますが、今は、列車から見える景色や、友達との会話を楽しみながら通学しています。

米坂線の魅力と

新たな利用

道路交通網の整備や自動車の普及により米坂線の利用者は減ってきています。しかし災害時には貴重な交通手段としての利用がされるなど、沿線地域には欠かせない路線であり、その役割は依然として重要なものがあります。

また、勇壮な列車の姿、車窓からの風景を求めて、全国から集まる列車愛好家、写真愛好家など、以前とは趣を変えた役割と愛されかたも増えています。

町では今後も引き続き、同盟会を構成する沿線市町村と連携しながら、観光資源との結びつきも視野に入れた新たな利用の拡大を目指していきます。

催し

白井森おぐに「食農体験学習講座」

■日時

1回目 8月30日(水)
午前9時～11時30分

2回目 10月下旬
午前9時～午後3時

■場所

1回目 総合センター・体験ほ場(東原地内)
2回目 ゆいゆ内レストラン

■内容

1回目 ぼかし肥料を使った秋野菜の栽培
2回目 郷土料理再発見「岩魚・マス押しずし」づくり

■対象者

参加料 一般成人男女30名程度
1人千円

■申込期限

8月25日(金)まで教育委員会事務局に申込んでください。

■問合先

教育委員会事務局へ

横川ダム湖底ウオーク

■日時

8月26日(土)
8時30分～15時

■場所

横川ダム(貯水池予定地)

役場、小国駅前、箱口公民館、JAおきたま叶水、東原公民館のいずれかに8時30分まで集合してください。

■募集人数 150名(先着順)

■参加費 三百円(昼食代)

■申込期限 8月18日(金)

■申込方法 住所、氏名、年齢、電話番号、バスの乗車場所を記入の上官製ハガキ、FAX、Eメールにて申し込んでください。

■申込・問合先

横川ダム工事事務所湖底ウオーク係(☎62-5307)
FAX(61-0088)
Eメール(yokokawa@hrr.mlit.go.jp)へ

さいわい荘盆踊り大会

■日時 8月10日(木)

子どもの部 午後7時～7時30分
大人の部 午後7時30分～8時30分

■場所 さいわい荘大ホール

*内履きを持参してください。

■問合先 さいわい荘(☎62-3821)へ

夢みらいトークinおきたま 知事と語ろう、置賜の夢みらい

■日時 8月24日(木)

午後1時30分～4時

■場所 置賜総合支庁2階講堂
■対象者 置賜在住のかた

先着100名

■申込期限 8月10日(木)

■申込方法 FAX、Eメール、郵送、電話のいずれか

■申込・問合先

置賜総合支庁総務企画部総務課
(☎0238-26-6003)
FAX(0238-24-1402)

Eメール(okitamasomu@pref.yamagata.jp)へ

置賜森の恵み塾

▼山菜の栽培方法の実際

■日時 8月25日(金)

午後1時30分～3時30分

■場所 飯豊町(あゝす)

▼山菜の植え付け作業

■日時 10月20日(金)

午後1時30分～3時30分

■場所 小国町(針生)

■定員 50人程度

■参加料 無料(保険料、材料費実費)

■講師 舟山勇氏(若山)

■申込期限 開催日の1週間前

■申込・問合先

置賜総合支庁森林整備課(☎0238-26-6063)へ

高齢者パソコン講習会(応用編)

■期日 9月6日(水)～14日(木)

■場所 総合センター

■対象者 町内に住む57歳から65歳までの、健康で働く意欲のあるかたで「高齢者パソコン基礎講習」の修了者または修了者と同等の操作ができるかた

■定員 20名

■受講料 無料

■申込期限 9月1日(金)

■申込方法 ハガキに住所、氏名、生年月日、電話番号を明記し郵送してください。電話申込可。

■申込・問合先

〒999-1135 2
小国町大字岩井沢604-2
小国町シルバー人材センター事務局(☎61-0030)へ

小型船舶免許操縦者法説明会

■日時 8月20日(日)

午前10時～11時30分

■場所 総合センター

■内容 操縦者法に基づく遵守事項違反、試験問題解説と合格基準についてなど

■受講料 無料

■申込期限 8月17日(木)

■**申込・問合先**
マリンライセンス教育センター
(☎0234-35-1730)へ

県立農業大学校 オープンキャンパス

■**期 日** ①9月9日(土)
②10月6日(金)

■**対象者** 高校生、保護者

■**内 容** 農業大学の体験入学

■**参加料** 無料

■**申込期限** ①9月1日(金)
②9月29日(金)

■**申込・問合先**
山形県立農業大学校 (☎023
3-22-1527)
Eメール (nodai@pref.yamagata.
ac.jp)

募集

下叶水遺跡発掘調査作業員募集

■**対象者** 年齢18〜70歳の健康で

野外作業に従事できるかた

■**期 間** 8月〜11月2日(木)

*調査の状況により変更になる場
合もあります。

■**場 所** 下叶水地区内

■**作業日時** 毎週月〜金曜日
午前8時30分〜午後5時15分

(休憩12時15分〜午後1時)
■**賃 金** 日額6千6百円
■**問合先** 下叶水遺跡調査事務所
(☎65-2080)へ

日本赤十字社職員採用試験

■**募集人員** 若干名

■**応募資格**

(1) 昭和56年4月2日から昭和
59年4月1日生まれで4年生大
学を卒業されたかた又は、昭和
59年4月2日以降生まれで平成
19年3月に4年生大学卒業見込
みのかた

(2) 第一種普通自動車免許取得
又は平成19年3月まで免許取得
見込みのかた

■**応募締切** 平成18年8月25日(金)

※応募方法、採用試験日時、場所、
労働条件、選考方法等詳細につ
いては、お問い合わせください。

■**問合先**
日本赤十字社山形県支部 (☎0
23-641-1353) へ

荒川ふれあいフォトコンテスト

羽越水害40年記念事業のひとつ
としてフォトコンテストを開催し
ます。

■**テーマ** 荒川水系(女川、大石

川、横川などの支流を含む)の
「美しい風景」や「川と人のふ
れあい」

■**募集期間** 平成19年5月31日まで

■**規 程**

未発表のものでアマチュアのか
たに限る。サイズは2L判以上。

■**応募方法**

必要事項を記入した応募用紙を
写真裏面に貼り付け、郵送また
は直接応募してください。

*応募用紙は役場ロビーまたは問
合先のホームページから入手で
きます。

■**申込・問合先**

新潟県村土地域振興局 (☎02
54-52-7966)
URL ([http://www.pref.nigata.jp/
chikishinko/murakami/seiji/](http://www.pref.nigata.jp/chikishinko/murakami/seiji/)) へ

お知らせ

農業者年金加入のお知らせ

農業者年金は、国民年金の第1

号被保険者で、年間60日以上農業

に従事する60歳未満のかたであれ

ば誰でも加入できます。

・農地を持っていない農業者や配
偶者、後継者など、家族従事者
でも加入できます。

・自分の年金原資を自分で積み立

てる積立方式で、自分で保険料
を決めることができます(月額
2万〜6万7千円)。

・65歳から生涯支給されます。

・支払った保険料は、全額が社会
保険料控除の対象となります。

■**問合先** 小国町農業者年金協会
事務局(産業振興課内) へ

「麻しん」及び「風しん」の 予防接種が変わりました

6月2日から、「麻しん」及び
「風しん」の予防接種が次のよう
に変わりました。

▼**I期** 1歳〜2歳未満

「麻しん風しん混合ワクチン」を1回

▼**II期** 小学校就学前の1年間

「麻しん風しん混合ワクチン」を1回

■**その他**

・「麻しんワクチン」及び「風しん
ワクチン」をそれぞれ接種した

場合でも、II期として「麻しん
風しん混合ワクチン」を接種で

きます。

・「麻しん」又は「風しん」のどち
らかにかかった場合は、かかっ
ていないほうのワクチンを接種
できます。

・対象年齢を過ぎて接種する場合
の費用は自己負担になります。

■**問合先** 健康福祉課へ

総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

- ◇きみの歌が聞きたい 野中 柊
 - ◇弥勒の月 あさのあつこ
 - ◇嫌われ松子の一生 山田 宗樹
 - ◇百年の愚行 Think the Earthプロジェクト
 - ◇子どもの成長に飛び級はない 佐々木正美
 - ◇ナチュラルガーデニング 学研編集部
 - ◇飯豊連邦 万年雪とお花畑 小荒井 実
 - ◇黄砂 その謎を追う 岩坂 泰信
 - ◇金貨をくれるへび おのえたかこ
 - ◇忍者にんにく丸 川端 誠
- ※他多数入荷しました。

今月の休館日：毎週月曜日



★あそびの広場★
 ■日程 8月1日、8日、22日、
 29日子育て講座「親子歯科教室」
 9月5日
 ■時間 午前10時～11時30分
 ■場所 健康管理センター
 ■対象者 0歳から入園前のお子
 さんとお家のかた

子育て支援センターから

★ながよし広場★
 ■日程と場所 8月3日、17日、9月7日
 総合センター
 8月10日、24日
 おぐに保育園
 ■時間 午前10時～11時30分
 ■対象者 0歳から入園前のお子
 さんとお家のかた
 ■その他 子育て支援センターは、8月14
 日(月)、15日(火)、16日(水)の3日間
 お休みとなります。
 ■申込・問合せ先 子育て支援セン
 ターへ

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
(株) コ メ リ	20人	販売員	18～35	9:00～18:00ほか
(有) 村 上 警 備 保 障	2人	交通誘導員	不問	8:00～17:00
K-PRODUCTS	1人	自動車販売・整備	不問	8:30～17:30
遠 藤 建 設 (株)	3人	土木施工管理技士・土木作業員	21～50	8:00～17:00
(有) 菊 一	1人	調理補助	不問	10:00～19:00
猪 野 電 気 工 事 (株)	2人	工事作業員	18～35	8:00～17:00
翔礼交通(株)山形営業所	1人	運転手	不問	9:00～18:00
ひさご電材(株)小国工場	5人	製造工	不問	8:30～17:30
(有) ヤ オ コ ー	5人	検査工・組立工	20～50	8:15～17:00
(有) 蔵 王 ス ト ア ー	2人	レジ係・食堂係	不問	8:45～18:00
医療法人社団緑愛会介護 老人保健施設かがやきの丘	2人	介護員	不問	8:30～17:30ほか
山形中央信用組合	1人	事務員	不問	8:40～17:20
(株) 齊 藤 建 設	1人	土木施工管理技士	不問	8:00～17:00
アベプランニング	2人	役務係	不問	8:00～17:00
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	営業	25～55	9:10～16:50
大 河 内 産 業 (有)	7人	事務員・プラントオペレーター・オペレーター	不問	8:00～17:00
(有)コンスカンパニー第一ホール小国店	1人	ホールスタッフ	18～40	8:00～17:30ほか
(有) 小 国 技 研	2人	洗浄工	不問	8:00～17:00
山 和 建 設 (株)	5人	土木作業員・土木施工管理 技士・建築施工管理技士	18～55	8:00～17:00
(株) 横 川 建 設	4人	重機オペレーター・土木施工管理技士	18～50	8:00～17:00
(株)技能育成センター郡山校	9人	加工検査・金属加工	不問	8:30～16:40
(株)シーテック山形営業所	2人	機械設計	不問	9:00～17:45
(株)C I T 仙台営業所	2人	装置設計	不問	9:00～17:45
おぐに白い森(株)	3人	応接員・調理補助員	不問	9:00～18:00
酒 味 庵 ま つ ば	1人	店員	不問	17:00～21:00ほか
(有)白い森よこね物産品直売所	3人	販売員	18～50	9:00～18:00
ファミリーマート小国町店	1人	店員	不問	0:00～8:00
味 処 藤 よ し	3人	調理師及び見習・接客	不問	9:00～14:30ほか

求 人 情 報

左の表は7月11日現在の新規求人
 の内容です。無効になっている場合
 もありますので了承ください。

町の雇用相談室を 利用してください

雇用相談員が、雇用や労働に
 ついての相談を受け付けていま
 す。また、インターネットで、
 町内から近隣市町村の求人情報
 を検索できます。気軽に利用し
 てください。

■雇用相談員による相談 (月・水・金)

※火・木は産業振興課職員が対
 応いたします。(祝祭日を除く)

■相談時間 9:00～16:00

■場 所

役場正面玄関ロビー脇

■問合せ先 産業振興課へ



相談

年金相談

- 日 時 8月16日(水)
受付 9:00～
相談 10:45～14:30
- 場 所 役場町民相談室
- 問合先 町民課へ

弁護士無料法律相談

- 日 時 9月5日(火)
10:00～15:00
- 場 所 総合センター
- 相談弁護士
古澤法律事務所弁護士
- 申込期限 8月31日(木)
- 申込・問合先 町民課へ

人権相談

- 日 時 8月25日(金)
10:00～12:00
- 場 所 総合センター
- 相談員 人権擁護委員
- 問合先 町民課へ

子どもの人権110番

- 日 時 8月28日(月)～9月3日(日) 8:30～18:30
- 相談方法 専用相談電話による電話相談
- 電 話 0570-070-110
- 問合先 法務局長井支局
(☎88-2587) へ

行方不明者捜索強化月間

8月は行方不明者捜索強化月間です。プライバシーは厳守されます。ご家族の中で連絡が取れないかたがいる場合は、気軽に相談してください。

- 相談・問合先 小国警察署生活安全課 (☎62-2110) へ

保健カレンダー ■問合先 健康福祉課へ

月日	乳幼児健診	受付時間	対 象	場 所
9/13	ポリオ 予防接種	13:00 ～ 13:30	・18年1月～5月生まれ ・7歳6カ月までに2回接種を終えていない子ども	*健康 管理セン ター (4カ月児、1歳児健康手帳問診票は除く)
9/15	1歳6カ月児健康診査	12:30 ～ 13:00	17年1月～3月生まれ	
9/22	4カ月児健康診査	13:00 ～ 13:15	18年5月生まれ	
	1歳児健康診査		17年9月生まれ	

国民健康保険・老人保健 入院時の費用の減額認定申請

住民税非課税世帯のかたは、医療機関に入院した場合に支払う一部負担金や、食事代の標準負担額(1食260円)が軽減される場合があります。該当するかたは入院する前に、印かん、保険証等を持参のうえ申請してください。

なお、認定証の有効期限は毎年7月末日となっています。旧認定証をお持ちのかたも再度申請が必要となります。

- 問合先 町民課へ

被保険者証が新しくなります

現在利用いただいている国民健康保険被保険者証は、有効期限が8月31日までとなっています。

9月1日からの新しい被保険者証については、8月末までに各世帯あてに配達記録郵便で送付します。

■被保険者証の回収

有効期限の切れた被保険者証は、町民課窓口回収箱を設置しますので返却してください。

■仕事や学校のために離れて暮らしている場合

修学や旅行、その他の理由により家族と別居し、住所が異なるかたは、別個の被保険者証を交付しますので申請してください。

申請は随時受け付けていますが、8月21日(月)までに町民課に申請していただくと、8月末までに郵送することができます。学生の場合は、在学証明書が必要です。

- 問合先 町民課へ

輝けおぐにっ子

今月は、ファミリーサポートサービス（登録制で育児を手伝ってもらったり手伝わたりできる制度）の利用者を紹介します。



大久保恵子さん親子（小国町）

シリーズ
4

～いつも安心して子育てがしたい～

「私も主人も小国の出身ではないため、そばに頼れる人はいないし、共働きということで『保育園以外にも面倒をみてもらえるところがある』という安心感を持って育児がしたくて登録しました。

私は、保育園が春休みのときや保育園・習い事の送迎などに利用してきましたが、常に育児に追われている専業主婦も、たまに息抜きのために気軽に利用できるような雰囲気をつくってほしいと思います。このサービスは、育児を手伝ってほしいかたと、協力できるかたの相互の理解によって成り立つものなので、安心して子どもをお願いできる協力者のかたにもっと登録していただきたいです」。

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

小国小坂町	山北	芽生	（裕晃）
あけぼの	舟山	琴音	（和明）
小国町	高橋	欽太	（圭介）
小国町	伊藤	杏樹	（直樹）
小国町	繁村	知	（卓美）

おくやみ申し上げます。

叶水	横山	秋雄	(70)
小国小坂町	佐藤	節子	(56)
岩井沢	渡部	吾三郎	(78)
松岡	伊藤	運四郎	(96)
岩井沢	菅原	末吉	(78)
北	小山	よし	(85)
網木箱口	井上	いつ	(84)
緑町	佐藤	淳子	(50)
あけぼの	横山	トリエ	(85)

人口のうごき

人口	男	… 4,725人(－4)
	女	… 4,998人(－9)
	計	… 9,723人(－13)
世帯数		3,284世帯(－2)
		平成18年6月30日

編集後記

特集の取材で、久しぶりに米坂線に乗りました。車内に入った瞬間、かれこれ十年近く前、通学に利用していた頃を懐かしく思い出しました。下宿生活で週に一度の帰宅を楽しみにしていた私は、松岡駅を過ぎ、車窓から見える国道端の灯りが多くなってくると、帰ってきたんだなと「ほっと」していたものです。あれから少し年を重ね、線路を走る音、車内の扇風機、そして、沼沢から買い物に帰ってきたという乗客と会話をし、当時とは違った「ほっと」した思いが込みあげてきました。(舟山)